



## 飛躍に向かって皆様とともに

皆野町長 柴崎 勉

明けましておめでとございませぬ。

町民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日ごろから町政に対しご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、各地域でも祭りや行事が再開され、皆様の笑顔と活気、地域を盛り上げたいという熱意に触れることができました。

町でも、学校給食費の無償化、不妊治療費の助成やお出かけタクシーの拡充、こども食堂の開催、

行政手続きのオンライン化、証明書のコンビニ交付など、町の課題解決に向けて熱意をもって取り組んでまいりました。

一方で、持続可能なまちづくりの視点からも取組を進めてまいりました。これからの課題に対応していくためには、既存のサービスの見直しが必要不可欠です。その一つとして、私は、温水プールの廃止を決断しました。これは、限られた財源の中で引き続き水泳や水中運動の機会を提供していくため、他の施設への利用補助など持続可能な形にサービスを組み替えるものです。

12月議会では、温水プールの存続を求める請願が採択される結果となりましたが、町の将来を見据えて不断の行財政改革を進めるべく、引き続き温水プールの廃止に向け、代替策などの協議を進めてまいります。

さて、令和6年度の当初予算編成にあたり、主な重点施策として、子育て施策の強化、移住・定住の促進、農林業の強化、地域公共交通計画の策定、SDGsの推進を掲げました。またその推進にあたっては「アウトタープロモーション」から「インナープロモーション」へを基本的な姿勢として示しました。

従来、町では国の地方創生の考えに合わせ、町外に向けた、いわゆるアウトタープロモーションを展開してまいりましたが、今後は基礎自治体としての原点を見つめ、町民や町内事業者の皆様としっかりと向き合い共通理解を図る、インナープロモーションに主眼を置きます。

今年辰年です。更なる飛躍に向け、職員一丸となって取り組んでまいりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。結び、本年が穏やかで幸多い一年となりますよう心から祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

# 賀 正



## 安心して心豊かに暮らせる皆野町の実現を

皆野町議会議長 大澤 金作

明けましておめでとございませぬ。

希望に満ちた輝かしい令和6年の新春を皆様ご健勝にて迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。また、本町の町政運営ならびに議会活動に対し、皆様の温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられた事により、人の移動も活発化し、また、ポピーまつりやふれあいまつり、皆野横丁などでも人々のにぎわいを感じ、さまざまな活動が本来の

姿に戻りつつあることは議会としても大変喜ばしく思っております。

しかしながら、昨年国内外で自然災害が猛威をふるい、多くの人命が失われました。被災されたかたがたには心よりお見舞い申し上げます。

また、ウクライナ侵攻をはじめとした国際情勢の危うさ、伴う資源高、物価高も止まりません。厳しい社会経済状況であり、地球温暖化による深刻な環境問題など多くの課題を抱えております。そんな中、町議会といたしましては、町内のことを第一に、皆様

の声を真摯に受け止め、安心して、心豊かに暮らせる皆野町の実現を改めて目指して参る所存です。

まずは、災害に強い町を目指し、スピーディな避難所開設、現存施設の更新や、町庁舎整備など、多くの課題があります。その中で皆様からの要望を念頭に置き、行政と議論を重ね、創意工夫と英知を結集して課題解決に向け努力していかねばなりません。

また、2月には任期満了による町議会議員一般選挙を控えております。現在、皆様の多様な意見を町政

に適切に反映させる責務を担っておりますが、改選後は、更に議員一人ひとりが研鑽に努め、資質の向上を図り、議会がより身近な存在となるよう積極的に取り組み、開かれた議会を推進して参ります。本年も全議員が一丸となり、住みたいと思える町政運営の実現と発展に尽くしてまいります。今後もお支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新春の挨拶といたします。